

2024年2月1日

ドメーヌナカジマの味のもと「もうちょっと美味しくするために」

素晴らしいワインをもっと研究して

自社畠のワインをもっと美味しくしてみたい、と思いました。

ブルゴーニュ特級畠	ボルドー左岸	ドメーヌナカジマ
水分供給		
<input type="radio"/> 雨量700ミリ(適量)	<input type="triangle"/> 雨量800ミリ (多め)	<input checked="" type="checkbox"/> 雨量1000ミリ (多め)
	<input type="radio"/> 局所的な地下粘土層	
	<input type="radio"/> 地下9mの基盤岩と石灰岩	
排水		
<input checked="" type="checkbox"/> 粘土石灰 (排水力低い)	<input type="radio"/> 砂利の排水力 + 排水路	<input checked="" type="checkbox"/> 粘土 (排水力低い)
<input type="radio"/> 斜面流出		<input type="radio"/> 斜面蒸発・雑草蒸発 (和地区)
<input type="radio"/> 湿度低い	<input type="radio"/> 気温高め	<input type="radio"/> 排水路・雑草蒸発 (御堂地区)
<input type="triangle"/> 低温 (蒸発すくなめ)	<input checked="" type="checkbox"/> 湿度高い	<input type="radio"/> 気温高め
		<input type="radio"/> 低湿度
低収量		
<input type="radio"/> 低収量クローン	<input type="radio"/> csの小房低収量	<input type="radio"/> 施肥少なめで低収量
<input type="radio"/> 高密植の低樹勢による低収量	<input type="radio"/> 砂利で地力低い	<input type="radio"/> 斜面でチッソ流亡
<input type="radio"/> 斜面でチッソ流亡		
ミネラル供給		
<input type="radio"/> 粘土石灰のカルシウム供給力	<input type="radio"/> 牡蠣殻基盤岩、石灰岩	<input checked="" type="checkbox"/> なし
(モンモリロナイト)		

ブルゴーニュは

もともと雨が少なく、グランクリュは斜面中腹の
カルシウム供給能力が特別に高い（モンモリロナイトが分布する）場所。

ポルドーは

雨がやや多めだが、排水性が良く、
1級シャトーは水分と養分の供給が適度な場所

ドメーヌナカジマは、

雨が多く、しかし水分損失も多め。
水分損失をいかに増やすかがこれまでのテーマだった。
これまで、和地区の畠は急斜面、御堂地区の畠は明渠排水、を試みた。

ここからドメーヌナカジマが品質改善のために考えられることは今2つ

①ミネラル供給の強化。

現在は和地区はpH5.5くらいの酸性土壌でカルシウムなど不足気味。
石灰肥料を施肥や効率の良いミネラル供給方法を研究してみたい

②カベルネソービニオンの可能性

カベルネフランの区画に数本混じっているカベルネソービニオン（cs）が
カベルネフランより小粒で小房で着色も良い
→カベルネフランの区画により多く混植しても良いかも。
特に温暖化している今、csは熟期が遅く、酸の高いので
酸を補う方法としての可能性があると考えている。
また小粒で果皮が硬くて厚いので雨量の多い年でも肥大しにくい。